

平成23年度

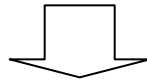
授業改善推進プラン

学力向上を図るための全体計画

教育目標

子どもたちの豊かな人間性の伸長を図るとともに、21世紀を生きる能力としての思考力や判断力、表現力を高めて問題解決力を育成するために、次の教育目標を設定した。

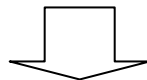
- ◎かしこく ・なかよく ・たくましく



学校経営方針（学力向上に関する要点）

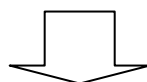
○ 学習指導方法の工夫改善を継続し、基礎学力や思考力、判断力、表現力等の定着を図る

教育目標の「かしこく」は、学んだ知識を生きる知恵に高めることを目標としている。わかって楽しい授業をすすめ、児童に達成感を感じさせ学習意欲を高める。そのために、指導方法の工夫改善を図る。また読書指導によって児童の読書意欲を高め、読解力の向上を図る。また、各教科指導を工夫し思考力や表現力の向上を図る。



本校における「身につけたい学力」

- 基礎的・基本的な学習内容を正しく理解できる力（基礎的・基本的内容の理解）
- 自ら意欲的に学ぼうとする力（学ぶ意欲）
- 自分で解決しようとする力（問題解決能力）
- 学んだことを活用できる力（活用力・応用力）
- TPOに合った「話し方」「聞き方」ができる力（表現力）
- 状況に合わせて判断し、行動できる力（思考力・判断力）



本校の授業改善に向けた視点と方策

教育課程編成上の工夫	評価活動の工夫	指導内容・指導法の工夫	校内における研究や研修の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領に沿った授業時数の確保のための年間指導計画、週時定の工夫 ○朝読書の実施 ○夏季休業日の有効利用 <ul style="list-style-type: none"> ①ぐんぐん教室 ②個別指導 ③個人面談 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者、地域に開かれた学校づくり（外部評価の実施） ○学習指導要領に沿った評価規準、評価基準の提示と明確化 ○授業改善（指導と評価の一体化） ○関心・意欲・態度や思考力の見取り方の工夫 ○児童の変容を見取る工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本の定着を図り、個を生かす教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ①国語、社会、算数、理科における授業改善の工夫 ②少人数加配を活用した算数少人数指導の実施 ○問題解決学習の推進 ○週単位の授業計画の作成と実施・振り返り ○教職員が協力・協調できる体制作りと指導力の高め合い 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業実践交流週間による互いの授業の学び合いと指導力向上 ○校内研究による授業力の向上と指導法の改善 ○夏季休業を利用した研修会の実施 ○校内研究「問題解決能力の育成～算数科を通して～」での研究授業実施 ○学習指導要領に対応する指導計画の作成、修正